

ソ連抑留中死亡者の遺骨伝達について

2024. 11. 29

平成29年7月4日から令和元年9月4日までにロシア連邦ババロフスク地方の「第4923野戦病院・ゴリン住居地墓地」および「第5収容所4923野戦病院墓地」から収集された遺骨のうち、DNA鑑定検体が採取できた185検体について、厚生労働省において鑑定を行ったところ、遺骨1柱から滋賀県在住の遺族と親族関係が存在するとの結論が得られたため、次によりその遺骨を遺族に伝達しました。

1 戦没者

- (1) 氏名 三崎 健三 (みさき けんぞう)
- (2) 生年月日 大正14年3月6日
- (3) 所属部隊等 第11航空情報連帯
- (4) 階級等 陸軍上等兵
- (5) 死亡年月日 昭和21年11月15日
- (6) 死亡場所 ハバロフスクホルモリン収容所
- (7) 死亡区分 戦病死

2 遺骨受領者

- (1) 氏名 三崎 清嗣 (みさき きよつぐ)
- (2) 続柄 甥
- (3) 住所 竜王町大字岡屋 1416 番地

3 伝達日時： 令和6年11月18日(月)午後3時から

4 伝達の方法： 県健康福祉政策課職員が厚生労働省に出向いて受領し、同日遺族宅にて滋賀県知事から伝達した。県健康医療福祉部3名、県秘書課1名、竜王町副町長が同席。